

10月12日 2015 サホロリバーサイド駅伝大会
思いを込めたたすきを掛けてスタート！

November 2015
(平成 27 年)
Since 1950
No.708



特集 功績をたたえて



元気なまちを
あなたとつくる広報紙
SHINTOKU TOWN
SHINTOKU TOWN
<http://www.shintoku-town.jp/>

功績をたたえて

北海道社会貢献賞

北海道が実施する「北海道社会貢献賞」において、この度新得町から2人の受賞者が決まり、社会事業関係功労者表彰として2名に伝達式が行われました。



柴田みね子さん（写真左）、柴田勝雄さん（写真右）

社会事業関係功労者

柴田みね子さん（71歳）

温厚にして優しく責任感の強い人柄が認められ、平成4年12月1日に民生委員・児童委員に委嘱され、担当地域の福祉活動を積極的に行い、また、平成19年12月からは新得町民生委員協議会会計として現在までその重責を果たしています。
常に住民の立場に立つて相談・支援活動を行いながら、地域福祉の奉仕者として、地域のみならず町の社会福祉の推進活動に尽力されています。

柴田勝雄さん（71歳）

温厚にして優しく責任感の強い人柄が認められ、平成4年12月1日に民生委員・児童委員に委嘱され、担当地域の福祉活動を積極的に行っています。
常に住民の立場に立つて相談・支援活動を行いながら、地域福祉の奉仕者として、地域のみならず町の社会福祉の推進活動に尽力されています。

平成27年度 第25回地域安全

標語コンクール

新得町・清水町・鹿追町で構成されている新得地方防犯協会連合会（会長・浜田正利新得町長）主催の第25回防犯地域安全標語コンクールにて、新得町から小中学生あわせて4人が入賞し、10月19日、町公民館で表彰式が行われました。
応募総数は、3町15校から923点で、うち入賞は102点でした。

【小学生の部】

◆銅賞

名和 樹輝さん（新得小5年）

「犯罪は、いかのおすしで

ねじふせよ」

【中学生の部】

◆金賞

菜畑 竜太さん（新得中3年）

「一度だけ」気持ち一回

罪一生」



◆佳作

八田 綾香さん（新得中3年）

「あいさつで 増える笑顔

減る犯罪」

◆佳作

清水 千晴さん（屈足南小5年）

「いじめはね 自分の心も

傷つくよ」

※清水さんは表彰式欠席



全国防犯功労者表彰

防犯荣誉銅章

竹浦 隆さん（69歳）

屈足防犯協会理事



昭和60年から屈足防犯協会役員として地域の防犯活動に積極的に取り組み、青少年の健全育成、指導をはじめ非行防止活動、歳末防犯活動及び各種キャンペーンなどの犯罪防止活動に尽力され、また、新得地区地域安全活動推進委員、新得地区少年補導員、新得地区防犯推進委員としても防犯活動に多大な貢献をされています。

平成27年度

新得町功労賞、奨励賞表彰

町の自治、産業、社会福祉、文化、スポーツ及び善行などを通して、発展振興に著しく功績のあった個人、団体として1個人、1団体に表彰が行われました。

自治功労賞

湯浅 亮さん（82歳）

昭和58年5月、町議会議員に初当選以来、連続8期32年の永きにわたり在職され、その間、議長を4期16年間、十勝町村議会議長会会長を2期8年間、町議会総務常任委員会委員長等を歴任されるなど、精力的な議会活動を通して、地域経済の振興と地方自治の推進発展に多大な貢献をされました。

また、昭和55年5月から平成8年7月までのうち農業委員会委員を通算16年間、昭和43年4月から平成4年4月まで新得町農業協同組合理事を24年間務められ、そのうち12年間、組合長代行理事として同組合の運営に大きく関わり、新得町の基幹産業である農業を発展させるなど、常に町民の先頭に立って活躍された功績は誠に大きいものがあります。



湯浅さん



パセリ座（能登夫妻）

文化奨励賞

人形劇一座「パセリ座」
（能登秀雄さん、真由美さん夫妻）

夫妻で農業を営みながら、昭和60年の結成以来、現在までの30年間、町内の図書館や保育所、幼稚園をはじめ道内各地で人形劇を発表し、多くの子どもたちに夢と感動を与え続けてこられました。使用する脚本、人形、舞台装置はすべて手作りであり、演目は昔話や宮澤賢治作品、グリム童話など30タイトルにも及び、上演回数は毎年20回以上。

また、道内でも珍しい、糸で操る「マリオネット」を演じるなど、夫婦の息の合った演技力は大変高い評価を得ております。

近年は、高齢者施設などでも公演し、より多くの人たちに人形劇を楽しんでもらうことで、文化の向上に積極的に取り組まれており、功績は誠に大きいものがあります。

新得町文化連盟 文化芸術賞

新得町文化連盟（森田桂次会長）が選出する平成27年度の文化芸術賞が決まり、11月1日（新得）、3日（屈足）に開催された町民芸能芸術祭舞台部門の席上で、表彰式が行われました。

文化貢献賞

安部範夫さん
（新得町郷土研究会）

平成9年4月に入会以来、平成13年から平成27年までの間に副会長を9年間、会長を6年間務められるとともに、この間、新得町の開拓から今日に至る歴史的な史料・資料の調査と収集保存及び伝承に積極的に取り組まれるなど、その功績は誠に大であります。

佐藤智恵子さん
（新得音頭保存会）

会結成と同時に入会後、主に演舞指導の中心的存在として現在まで継続して活躍されています。

また、新得音頭保存会での活動に加え、藤恵会においても会設立時より会長兼事務局長を務められ、福祉施設の慰問や町内行事にも積極的に参加されるなど、町の文化振興に大きく貢献されており、その功績は誠に大であります。

文化奨励賞

グリーン・エコーイン
（会長 青柳茂行）

平成17年の開創立から今年で10周年を迎えられ、記念コンサートを開催されるなど、精力的に活動されているほか、町内外の合唱発表会にも積極的に参加されており、今後益々の活躍が期待されます。

文芸賞

青柳茂行さん
（新得吟友会）

公益社団法人日本詩吟学院が主催する「第125回全国詩吟大会」に北海道代表として出場され、「合吟の部」で最高位である「木村岳風賞」に輝かれました。



左からグリーン・エコーインとくの粉山さん、宗像さん



左から安部さん、齊藤さん、佐藤さん、青柳さん

新得町体育連盟

スポーツ賞

スポーツ優秀賞

スポーツ努力賞

スポーツ奨励賞

詳細は5ページへ



新得町体育連盟 スポーツ賞

町体育連盟（北敏夫会長）が、スポーツを通じて体育の振興に貢献し、功績のあった個人、団体に贈るもので、10月31日に保健福祉センターなごみで表彰式が行われました。

※平成26年度の成績を基に審査しており、学年も昨年度のものです。

スポーツ優秀賞【個人の部】

- 村瀬 大我さん（屈足南小6年）
第40回全道ジュニアアルペンスキー記録会スポーツハウスカップ道央会場 小学6年男子大回転 1位 ほか
- 本綿 啓太さん（屈足クロスカントリー少年団 小学6年）
北海道ミニバイアスロンサーキットOGASAKAカップ 1位 ほか
- 伊藤 李桜さん（新得柔道少年団 中学3年）
第5回十勝カップ北海道中学生柔道選手権大会 個人戦女子63キロ級 第3位 ほか
- 本綿 宏太さん（屈足中3年）
第46回全十勝中学校秋季アイスホッケー大会 優勝 ほか

スポーツ奨励賞【個人の部】

- 森本 哲矢さん（しんとくサッカースポーツ少年団 44歳）
平成元年より現在まで26年間、小学生の指導、平成10年頃より中学校の指導を兼務し、地域振興に大きく貢献

スポーツ努力賞【個人の部】

- 浪岡 大裕さん（屈足南小4年）
第32回北海道小学生陸上競技大会十勝予選 4年男子ソフトボール投げ 1位
- 大森 奈々さん（屈足南小4年）
第32回北海道小学生陸上競技大会十勝予選 4年女子100メートル 2位
- 渡辺 海翔さん（屈足クロスカントリースキー少年団 小学6年）
第65回全道クロスカントリースキー大会兼第34回十勝クロスカントリースキー大会 6年男子3・4キロメートル 2位 ほか
- 田中 風太さん（屈足中3年）
第65回全道クロスカントリースキー大会兼第34回十勝クロスカントリースキー大会 中学2年生男子5キロメートル 第1位
- 田中 遥輝さん（屈足中2年）
第65回全道クロスカントリースキー大会兼第34回十勝クロスカントリースキー大会 中学1年生男子5キロメートル 第1位
- 浪岡 大陸さん（屈足中3年）
全十勝中学校スピードスケート新人戦大会 男子1000メートル 2位 ほか

スポーツ努力賞【団体の部】

- 植田ゆらさん・東川茉央さん・駒井乙姫さん（新得水泳少年団 小学4年）
第18回十勝年齢別水泳競技大会 女子9・10歳フリーリレー200メートル 1位
- 鈴木亜聖さん（新得柔道少年団・小4）・千田康聖さん（同・小5）・伊藤怜央さん（同・小6）・箕浦翔太さん（同・小6）・廣瀬奏さん（同・小4）・辻柊さん（同・小4）
第45回全十勝少年団柔道大会兼第32回全十勝女子柔道選手権大会 団体戦小学校高学年の部（4～6年生） 3位

介護あれこれ疑問「短期入所生活介護（ショートステイ）」とは？

短期入所生活介護事業所 新得やすらぎ荘

●サービス内容

家庭における介護が一時的に困難になったときや、家族の介護の手を休めたいときに、特別養護老人ホームの施設等に短期間滞在して、日常生活の介護を受けるサービスです。

お部屋（個室）



個室と2～4人部屋があります。個室には洗面所、テレビ、冷蔵庫がついています。デイルームにもテレビがあり、ゆっくり過ごせます。

デイルーム



お風呂（週2回）



お風呂は一人一人の状態に合わせて、種類や介助の方法が選べます。
左の写真は、一人用の浴槽で、入浴補助具を利用して入るお風呂です。寝たまま入れる浴槽もあります。



お食事 水分ゼリー



食事時間は、朝食8時、昼食12時、夕食18時です。栄養バランスの整った食事内容です。
認知症予防・認知症悪化防止・スムーズな排便のために、毎日、水分を1.5ℓ以上とるようにすすめています。午後のおやつの中には食物繊維たっぷりの寒天フルーツゼリーで、水分を多くとっていただくようにしています。



あとがき

介護は先が見えない不安がつきものです。介護者も介護される側も休息が必要な時には、ショートステイをご利用ください。3泊4日以上で洗濯も無料で実施しています。

行事があれば、参加することができます。毎日午後3時から、特別養護老人ホーム入所者と一緒に体操をしています。

イベント参加・体操



つながい



●発行元●

新得町地域包括
支援センター

保健福祉課在宅支援係

Tel 64-0533

FAX 64-0534

●学習内容は？
高等支援学校は、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習する「作業学習」を中心としておこないます。
木工科においては、いすや棚などの木工クラフトづくり、家庭科においては、バッグなどの製品づくりや菓子づくりなどを行い、両

●学習内容は？
校名は、「北海道新得高等支援学校」となることが決定しています。知的障害の生徒を対象とした特別支援学校高等部の本校であり、学科は、木工科と家庭科の2学科、定員は1学年各学科8名ずつの計16名となります。
来年度から1年生が入学し、新得高校が閉校する平成30年度までは、高校生と高等支援学校生は同じ校舎で学ぶことになっています。

●学習内容は？
追加情報は随時お知らせします。
平成28年4月から新得高校の空き教室を利用して開校する道立の特別支援学校についての情報をお知らせします。

来春開校の「新得高等支援学校」って？ パート1

●普通高校の生徒と同じ校舎を利用するけど、その利用方法は？
現在、来年4月の開校に向けて、増改築工事を行っています。
高等支援学校の職員室を増築し、普通教室と実習室などの特別教室の改修を行っています。
また、昼食の給食準備を行う配膳室や身体の不自由な生徒のためのエレベーターの設置工事も行っています。

●普通高校の生徒と同じ校舎を利用するけど、その利用方法は？
現在、来年4月の開校に向けて、増改築工事を行っています。
高等支援学校の職員室を増築し、普通教室と実習室などの特別教室の改修を行っています。
また、昼食の給食準備を行う配膳室や身体の不自由な生徒のためのエレベーターの設置工事も行っています。

●普通高校の生徒と同じ校舎を利用するけど、その利用方法は？
現在、来年4月の開校に向けて、増改築工事を行っています。
高等支援学校の職員室を増築し、普通教室と実習室などの特別教室の改修を行っています。
また、昼食の給食準備を行う配膳室や身体の不自由な生徒のためのエレベーターの設置工事も行っています。

しんとく 歴史散歩 No. 2

「旧狩勝線―開通の日が新得神社のお祭りに―」
官設鉄道十勝線（旭川～帯広間）は、北海道内の物資や旅客の輸送の確保と軍事上の必要性から明治30（1897）年6月に旭川から敷設工事が始まりました。明治34（1901）年4月からは、通称狩勝線と呼ばれた落合～新得間（約28㎞）が着工されています。この年の7月からは狩勝トンネルの開削工事がトンネルの両側から始まり、固い岩盤と湧き水で工事は難航しましたが、明治38（1905）年1月になってやっと完成しました。
新内トンネル（延長124・3㍎）工事や新内沢大築堤工事も併せて進められ、明治40（1907）年9月8日に晴れて官設鉄道十勝線が開業し、新得駅と新内信号所（明治42年駅に昇格）が開設されました。明治42（1909）年10月には釧路線（帯広～釧路間）と合わせて旭川～釧路間が釧路線と称されました。後に鉄道開業の日の9月8日は、新得神社のお祭りの日

郷土の歴史を
新得町郷土研究会が
ご紹介します。
一緒に歴史の散歩に
出掛けましょう

とされまし
た。
しかし、
狩勝線は
1000分の25と急勾配のため、重い貨車を運ぶときに機関車を二重連結するなど輸送効率が悪く、石炭を機関車の釜に投入する機関士の労働環境も劣悪でした。また、狩勝トンネルが老朽化し、狩勝新線の建設に迫られていました。
こうして昭和41（1966）年9月30日、道央と道東を結ぶ鉄路として59年の歴史を刻んできた狩勝線は廃止され、翌10月1日に新線（現十勝線の一部）に切り替えられました。
昭和42年（1967）年からは、旧狩勝線のうち新内～新得間を利用して列車の脱線や火災実験が行われたりしましたが、現在は「狩勝ぼつぼの道」として利用されています。



旧狩勝線を上る貨物列車（昭和38年7月）



生徒に説明する佐藤行政相談委員

総務省釧路行政評価分室が10月16日、新得中学校で3年生を対象に行政相談出前教室を行いました。これは同分室が日常生活と行政との関わりや身近な行政の問題を取り上げ、行政に関心を持つてもらうと平成24年度から行政相談委員と連携して、中学生を対象とした出前教室を実施しており、同中学校では昨年に続き2回目の開催。

新得町担当の行政相談委員の佐藤佳代さんが、昨年のこの出前教室で出た要望がその後解決した例などを紹介し「行政がしている仕事で不満や困ったことがあった時には、私にぜひ相談してほしい」と話していました。生徒らも「授業で行政のことを習ったが、今回でさらに身近に感じる事ができた」と感想を話していました。

「行政」って
どういうこと？
新得中学校で行政相談出前教室



挨拶をする中島学級委員長

町民大学高齢者学級「寿教室」の40周年を祝う集いが10月8日、町公民館で行われ、受講生約80名が参加しました。

寿教室の中島学級委員長は「遊びが無ければ続かない。楽しみがあるから続いている。人生は長い。生きている限り勉強。これからも続けていきたい」と受講生を代表して挨拶をしていました。

最近の活動を写真で振り返るスライドショーや元教育長や元教育委員長からのビデオレターの上映や、グリーン・エコーによる合唱などを鑑賞しました。また、昼食には役場有志団体のそば商店による新そばも提供され、秋の味覚を楽しむと共に40年の節目を祝っていました。

楽しく学び続けて
40周年
町民大学高齢者学級「寿教室」40周年



交通安全宣言をする新生の2会の皆さん

新生の2町内会（阿部靖博会長）が10月11日、新得保育所グラウンドで交通安全宣言40周年記念集会を行い、町内会会員約60人が参加しました。

昭和50年に町内で9人の交通事故死が発生したことを契機に、同町内会では昭和50年9月に集会を開き、町内の町内会では3番目に交通安全宣言をしました。

この集会は例年行っている同町内会家族運動会の前段に行われ、新得警察署署員による交通講話や参加者全員で交通安全宣言を読み上げ、交通事故の無い町内会を誓っていました。

地域ぐるみで
交通事故防止
新生の2会 交通安全宣言
40周年記念集会



昭和63年度から、新得にゆかりのある人の優れた歌碑・句碑を毎年建立している「文学の散歩道」事業、26基目の句碑に、故安楽ヤスさんの「開拓の歴史をつなぐ花野かな」が選ばれ、除幕式が10月14日に行われました。

式にはおよそ15人が出席。除幕に続き、斉藤仁教育長のあいさつ、文学の散歩道推進協議会会長、新得俳句同好会会長の中島實さんによる作品紹介が行われました。

「母もきつと喜んでる。時間をおいたら母の作品に目を向けた」と親族代表、安楽さんの長女の伊藤直子さんが謝辞を述べました。

故安楽ヤスさんの句
碑建立
しんとく文学の散歩道事業



おいしいお米ができるかな？
新得小5年生が共働学舎で稲刈り体験

新得小学校の5年生30人が10月5日、共働学舎新得農場の田んぼで稲刈りを体験しました。

社会科の授業で稲作を学んでおり、米づくりを行っている同農場の協力で、6月に田植えをし、今回はその育った稲の収穫を行いました。

児童たちは同農場の百瀬雄二さんから稲の刈り方の説明を受け、鎌を手に挑戦。最初は慣れない鎌の扱いに手こずりましたが、徐々に慣れ、楽しそうに稲を刈っていました。



ベストを尽くす
全道中学駅伝大会出場報告

10月18日開催の第33回北海道中学校駅伝競争大会に出場する新得中学校・屈足中学校の生徒19名が浜田正利町長のもとを訪れました。

屈中男子キャプテンの榊稜兵くんは「新中男子に勝つて一つでも上の順位を狙いたい」、新中男子の門野春佑くんは「屈中に負けないように全員がベストを尽くす」、新中女子キャプテンの伊藤穂乃佳さんは「順位は気にせず、全員が悔いの残らないようにする」と決意を語りました。

なお、大会の詳細は下に記載しています。



スタートから先頭でレースを引っ張る伊藤さん（ゼッケン番号6-1）

道内中学校No.1の
健脚を競う
第33回北海道中学校駅伝競争大会が新得で開催

第33回北海道中学校駅伝競争大会（二財）北海道陸上競技協会・北海道中学校体育連盟・北海道新聞社主催が10月18日、秋晴れの下、サホロリバーサイド運動広場で開催されました。新得での開催は今年で4回目。

全道の中学校から1部（単独校）82チーム、2部（他校との合同チーム）

1チームまたはクラブチーム）14チームの総勢75人が出場しました。関係者、観客を含めると、およそ1300人もの人で会場が埋め尽くされました。

男女共に1部、2部に分かれ、男子は各部共通の全6区間18キロ、女子は各部共通の全5区間12キロで順位を競いました。

新得からは、1部に新得中男子（1区から岩瀬竜介・3年、門野春佑・3年、加藤達也・3年、高野裕・2年、奥村晴樹・2年、柴田海大・3年）、同女子（1区から伊藤穂乃佳・3年、菊地ひかり・3年、伊藤寿々日・1年、佐々木瑞季・1年、古川幸希・1年、屈足中男子（1区から島井洋助・2年、村瀬大我・1年、榊稜兵・3年、高本颯伯・2年、木綿啓太・1年、紺野唯人・2年）が出場。日頃の練習の成果を発揮し、精一杯の走りを見せていました。

激しいレースを制し、12月14日に山口県で開催される全国大会への切符を勝ち取ったのは、男子が岩見沢光陵中学校、女子は下音更中学校でした。

新得勢は、新得中男子が54チーム中37位、屈足中男子が44位、新得中女子が33チーム中20位という結果でした。また、新得中女子の伊藤穂乃佳さんが第1区で3年連続の区間賞を獲得しました。



新得スキー連盟（植村高志会長）主催の新得山スキー場のゲレンデ整備が10月10日に行われ、新得シニアスキー同好会や狩勝寿事業団などの団体6人によって作業が行われました。

この日は、ジャイアントコースとスカイラインコースに分かれ、コース内にはみ出している危険な枝などを取り除いていきました。

参加者は、事故が起きないよう念入りに作業に臨んでいました。

なお、新得山スキー場のオープン予定は12月23日となっています。

無事故を願って作業 新得山スキー場のゲレンデを整備

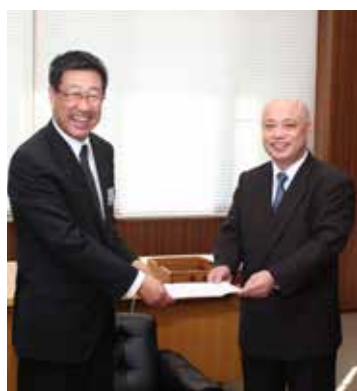


関東圏に住む新得町出身者で構成されている「東京ふるさと新得会（秋山憲一会長）の会員ら30名が帰郷し、10月23日、町公民館で歓迎式が開催されました。

歓迎式では会員らの知人の町民も駆けつけ、旧交を温めていました。秋山会長から図書館の書籍購入用として、図書券が浜田正利町長に手渡されました。

一行はこの後、サホロリゾートに宿泊。翌日は若原農場を見学し、札幌方面に移動。翌々日には余市とキロロリゾートを回るなど、2泊3日の気ままな旅を楽しみました。

ふるさとに帰郷 東京ふるさと新得会「第17回秋の気ままな旅」



佐藤支部長より開催決定書を受け取る浜田町長

（一社）全麹協の佐藤正光北海道支部長、山本良明同支部事務局長らが10月22日、町長室を訪れ、「日本そば博覧会」の次年度開催地を新得町にすることを正式に決定しました。

開催予定期間は9月19日～25日で「そばと新得町の風景写真コンテスト」「地元小学生によるそば栽培体験写真展示」などの展示イベントを行い、その内の24日～25日にかけて食イベントとして「新そば祭り」を併催事業で開催する予定となっています。

浜田正利町長は「決定していたのでありがたい。せっかくの機会なので、博覧会開催がいろいろな部分にも広がるよう最大限努力する」と話していました。

来秋の「そば博覧会」 新得町での開催決定 来年9月19日～25日に開催し、新そば祭りと併催

12月1日にリニューアルオープン トムラウシ温泉東大雪荘が「源泉かけ流し」に

9月1日より温泉の配管などの改修や源泉かけ流し方式への切り替え工事のために休館しているトムラウシ温泉東大雪荘は、12月1日にリニューアルオープンします。

「源泉かけ流し」は、湧き出したままの成分を損なわない源泉（入浴の適温にするための最低限の加水は可能）が、新鮮な状態のまま湯槽を満たし、注がれた分だけの湯が湯槽の外に溢れ出ていることなどが条件であり、温泉好きには堪らないものとなっています。

このリニューアルオープンの特別企画として、12月1日から30日までの期間限定で「源泉の湯プラン」（1泊2食付・1室2名様以上で大人一人6500円）を販売しています。予約受付中ですので良質な温泉を堪能してみたい方が多いようです。

プランの詳細やご予約、お問い合わせはトムラウシ温泉東大雪荘（65・3021）まで。

※工事中の期間でも電話は繋がります。

優秀賞は狩勝寿事業団 花壇コンクール表彰式



平成27年花壇コンクール（町花いっぱい運動推進委員会主催）の表彰式が10月6日、町公民館で開催され、優秀賞には、新得山スキー場の花壇を整備した狩勝寿事業団（杉本寛理事長）が選ばれました。

このコンクールは、毎年、町の環境美化、景観向上を目的に開催されています。

表彰には、入賞した11団体のうち、6団体が出席し、熊切隆委員、会長から表彰状が手渡されました。

健康に過ごす秘訣を 解説 町地域医療講演会



健康な食生活について説明する木村医師

町地域医療講演会「長寿のためには」（町、社会医療法人新得クリニック主催）が10月6日、新得クリニック循環器内科医師の木村孝さんを講師に招き、町公民館で開催され、町民約40人が動脈硬化や高血圧症などについて学びました。

豆、ゴマ、わかめ、野菜、魚といった、芋の頭文字をつなげた「まごはやさしい」をキーワードに動脈硬化を抑える食事を紹介し、高血圧症については、「野菜、魚を多く食べ、肉やお酒を控え、足腰を鍛える運動などが大切」と木村医師は語り、「この話を若い人にも伝えてほしい」と呼びかけました。

清らかな音色に聞き 入る フレンドリー 08 がひまわり荘を慰問



大正琴を演奏する中里さん

道内、道外の老人福祉施設や病院で講演や演奏を行っている「フレンドリー08」代表の中里幸道さんが10月20日、養護老人ホームひまわり荘を訪れ、大正琴の演奏を行いました。

この日は、入所者ら約40人が集まり、「赤いスイートピー」や「ふるさと」など7曲が披露され、入所者の中には、手拍子をしたり、口ずさんだりする人もおり、演奏にノリノリの様子でした。

10月18日には、新得やすらぎ荘19日には、屈足わかふじ園でも演奏が行われました。

生まれてきたうれし さを伝えてほしい 平成27年度子育て支援事業 子育て支援講演会



出産の仕組について説明する高田さん

平成27年度子育て支援事業、子育て支援講演会が「家庭で伝えるいのちの語り」生まれてきてくれてありがとう」を演題に10月27日、子どもセンターなかよしで行われ、13人のお母さんが参加しました。

講師として、誕生学アドバイザーの高田めぐみさんを招き、いのちの大事さ、いのちの始まり、子どもの成長過程、出産の仕組みなどを学びました。

お母さんたちは、自分の経験を思い出しながらウンウンと頷いて話を聞いていました。

「生まれてきてうれしかった子どもに伝えてほしい。お母さんから伝えてもらうことによって、子どもが命を大事だと思える土台となる」と高田さんは訴えていました。

3年生が集大成のラストステージ

新得中学校吹奏楽部定期演奏会



新得中学校吹奏楽部（北村有結末部長、部員 36 人）の演奏会が 10 月 18 日、町公民館大ホールで開催されました。今回の演奏会が 3 年生にとっては最後の演奏会。3 部構成で「丘上の風」から始まり NHK 朝の連続テレビ「まれ」の主題歌やディズニー映画「アラジン」など 12 曲を披露。恒例となった吹奏楽部卒業生や新得高校吹奏楽部、新得ジュニア吹奏楽団との共演による迫力のある演奏が行われるなど、3 年生のラストステージに聴衆は惜しめない拍手を送っていました。

話題のアルバム

迫力のある試合に大興奮

大日本プロレス in しんとく

大日本プロレス in しんとくが 10 月 7 日、町公民館で開催され、約 340 人の観客で会場は満席状態となりました。

試合前には、関本大介選手から気合のチョップを受ける企画も行われ、4 人の観客が参加し、商売繁盛や千客万来などの願いを込めて関本選手にチョップ。その後に関本選手からお返し of 強烈なチョップを受けていました。

試合が始まると観客は試合に熱中し、一緒に手拍子や掛け声をかけるなど会場は一体となって盛り上がりました。



大迫力の蛍光灯デスマッチ



たすきに思い託す

2015 サホロリバーサイド駅伝大会

2015 サホロリバーサイド駅伝大会（町文化・スポーツ振興基金事業運営委員会主催）が 10 月 12 日、運動広場芝生ランニングコースで開かれ、63 チーム 252 人が一位を目指して快走しました。

4 人 1 チーム編成で、町内外の小学生からシニアまでの幅広い世代が参加しました。

新得町からは、17 チームが参加。中学校の部で新得中学校（伊藤穂乃佳、門野春佑、岩瀬竜介、柴田海大）が優勝し、一般男子の部では、チームヒロミ（迫田明巳、苫米地慎平、大橋裕貴、川上隆夫）が 2 位と 2 分以上の差をつけて優勝しました。



ターゲットを狙って

第 17 回全国フロアカーリング交流大会

第 17 回全国フロアカーリング交流大会が 10 月 11 日、町総合体育館で開催され、ダブルス 42 チーム、フォース 43 チーム、合計 85 チーム 267 人が参加。遠くは埼玉県羽生市からの参加がありました。

決勝トーナメントに進む 16 チームに入ろうと熱戦が繰り広げられ、新得からはダブルスで「絶好調 A」、フォースで「チダクン」が決勝トーナメントに進出しましたが、惜しくも一回戦敗退となりました。

ダブルスの優勝は「帯広白樺愛好会 C」、フォースの優勝は「ふらのあかつき B」でした。

うまいものとイベントを楽しむ

第 42 回大雪まつり

第 42 回大雪まつりが 10 月 4 日、屈足公園で開かれました。

例年行われている大人気の野菜詰め放題には、開始前から長蛇の列ができており、参加者は袋いっぱいにかぼちゃ、じゃがいも、にんじんを詰め込んでいました。

会場の中では、アトラクションとしてカヌー体験や巨大すべり台、「岩佐彰 with ♪ super session」のライブもあり、ステージでは、「Happy 少女」と「フルーティー」のライブが行われました。



まちの出来事をピックアップ

「ドキドキ」初体験 馬とのふれあい

新得保育所で馬とのふれあい体験

町内在住の北越暁さんは、所有しているポニー「クリトッ」と 10 月 7 日に新得保育所を訪れ、年長組の園児を対象に馬とのふれあい体験を行いました。

北越さんは「子供達に本物の馬を見て触れ合ってもらいたい」と企画し、今回、移動丸馬場の柵が完成したことにより初めて実施しました。

馬の調教を行っている井岡心さん（鹿追町在住）らと一緒に引き綱を引く園児らは、楽しそうに引く子もいれば、おっかなびっくり引く子も。

園児らは「ドキドキしたけど楽しかった」、「怖くなかった」と貴重な体験をしていました。



「つなげよう あいの手話」テーマに

今年でラスト ふれあい広場 2015 しんとく

ふれあい広場 2015 しんとく（同実行委員会主催）が 10 月 17 日、町公民館で開催されました。

町内の子どもからお年寄りまでが一堂に会し、「ふれあい、ささえあい、そだてあう」ことで、地域福祉に関心を持ってもらおうと開催し今回で 30 回目。

会場では町内の授産施設による商品販売や毎年恒例の「元気カレー」の販売、かりかち工房によるミックスキャンドル作り体験、新得高校茶道部による茶処のほか、「東日本被災地応援マート」として東北の特産品販売も行われました。

同実行委員会では、今回の 30 回目を節目として、最後の開催にする意向を示しました。



ふるさと

顔の

No.407

辛いこともあったからこそ
これからは
楽しく朗らかに
暮らしていきたい



雑貨商などを営んでいた当時の宗像商店（建物左側：旅館、右側：雑貨店）



「家内や子供たちから、今までのしかめっ面した怖い顔じゃなくなつたねと言われるようになったんですよ」と笑いながら話すのは、今年4月まで5期20年間勤めた町議会議員を勇退された宗像一さん。宗像さんは、屈足で雑貨商と農産物の取引業などを営む家庭に生まれ、5人きょうだいの長男として育つた。「私の祖父らが福島県から北海道に開拓で入り、新得に最初に入った場所は福山地区でそこで農業をしていたようです。その後、屈足地区に移り住み雑貨商や旅館などを営んでいました。父親の弟らが旅館をやり、父親は雑貨商などのお店の方をやっていました。父親は体が弱くて自分ではあまり動けなかつたんだけど、商売に長けた人であるという手広く仕事をやっていて、水田もやっていました。子供の頃は、私も田植えや草刈りなどに行っていましたね。店のすぐ



はじめ さん (79歳)
朝日の1会
むねかた 宗像

目の前には森林鉄道が走っていて、駅もすぐ近くにありました。と当時の宗像商店の写真を見せながら話してくれました。中学校卒業後、精米業を引き継ぐことになり、仕事をしながら新得高校屈足分校で定時制に通つた。当時の分校は公民館を間借りしていて、その後、屈足南小学校の校舎内に移つたりと転々としていた。「父親に大学に行きたいと言つたら、働きながら自分で金を貯めて行けつて言われてね。それでコツコツと貯金して、本州の大学にも受かつて、さあ大学に行くぞつてなつた時に家で騒動になつたんだよね。弟や妹にお兄ちゃんがいなくなつたらだめだと言われるし。最終的には祖父に説得されて、ここに残つたんです」と話す。しかし、家業の商売は順風満帆ばかりではなかつた。「父親が面倒見が良かったのもあると思うんだけど、他人の保証人になつていてね。それがきっかけで家財道具などが差し押さえになったりとかね。あれは辛かつたなあ」としみじみと語つた。雑貨商は昭和38年に父

親が亡くなつた時に廃業した。その後、運送会社を手掛けたり、農村ダムの建設により整備工場が足りないとなると昭和49年に自動車整備工場を始めた。「ちよつとオイルショックの時で資材などが高騰して工場が建てられないのではと思つたが、融資などを取り付けて、何とか始めることができました」と話す。昭和42年に屈足で理容師として働いていた千津子さんと結婚し、一男二女に恵まれた。商工会の理事などを歴任したのち平成7年4月から20年間、町議会議員として活躍した。「屈足地域の盛衰を見てきた者として、地域の過疎化を食い止めたという一心で活動してきた。20年間、皆様に支援していただいていたので、皆様に支えられて。今はね、みんなとパークゴルフやったり楽しくやっています。もうちよつとのおんぼりしたら息子に買つてもらつたカメラで写真を撮ろつかな」と話す。新得町初のオリンピック選手として長野オリンピックで、スピードスケート3000mに出場した次女の記子さんは現在、カナダに在住。「2年に1回は帰つて来てくれるんだけど、今年帰つてきて『また再来年だね』って言うから、再来年は俺が生きてるかわからないぞつて言つてやつたよ」と穏やかな表情で笑つて話してくれました。

町長室から こんにちは

新得町長 浜田正利

春先から元気な皆さんの活躍を見る事が多くあり、町を明るくしてくれていると常々感じています。最近、改めて実感したことを報告します。

一つ目は、10月17日に開催された「ふれあい広場」です。例年、会場一杯に子どもから大人まで元気が溢れ、楽しみにしていた行事の一つですが、今年も例年と同じように元気が溢れていました。しかし、様々な理由から30回を迎えた今年が最後の開催とお話があり、正直残念な気持ちになりましたが、新たな内容の交流の場を模索していくとことで安心しました。これまで30年間にわたり支えていただいた関係者の皆さんに改めて感謝を申し上げますとともに今後も地域の福祉向上のためにご協力をお願いします。

二つ目は、10月18日に本町のサホロリバーサイド運動公園で開催された「第33回北海道中学校駅伝競争大会」です。全道から男子では新得、屈足両中学校を含



む63チーム、女子では新得中学校を含む40チームが参加し、男子では6区間、女子は5区間を「たすき」をつないで健脚を競いました。駅伝なので一人では勝てないのは当然ですが、チーム全員でケガを含め体調管理を行い、競技レベルを維持する事の素晴らしさを感じたところです。なお、来年の第34回大会をもって本町での開催が終わる事になっていますが、その後も継続して本町で開催いただくようお願いをしたところです。

三つ目は、10月30日から開催された町民芸術祭です。特に、展示部門の子どもから大先輩までの作品の素晴らしさを感じました。舞台部門も全てを見ることは出来ませんでした。同じように感じたところです。継続して物事に取り組みることの大切さを実感しました。

四つ目は、10月31日に開催されました新得町体育連盟主催のスポーツ賞表彰式です。今回は、平成26年度に活躍した個人、団体が対象になりました。また、26年間にわたり小学生、中学生にサッカーの指導をされてきた方に奨励賞が授与されました。選手本人の努力が受賞に繋がりましたが、選手を支える家族、指導者、関係者の方々の協力が無いと結果は付いてこないと実感したところです。

四つの話に共通して言えるのは、当事者の努力はもちろんですが、本人を支える裏方の皆さんの協力があるから元気な皆さんの活躍に繋がると改めて感じたところです。今後も町全体を元気にするためにも大変かと思いますが、関係する方々の変わらぬご協力をお願いします。

短歌

新得短歌会

十五夜は奈良の都を照らし終え
紫雲の西空朝深き山に
奇藤美代子

乳のみ子の黒曜石たるその瞳には
いかな安に吾映るらむ
樋口かおり

冬むかふ朝のひ凜と輝やきか
きのふ孫より内定メール
中井由利子

洞爺湖の湖面に映へる火の花は
旅の一夜の想ひひとしほ
小野 洋子

持ち寄ればことば踊りて胸はずむ
歌留多操る子らを想うと
岡田御狸裸

紫蘇の実を抜けば指よりこぼれ落ち
香りおのずと厨に満つる
高橋 幸子

オリオン座流星群のひとりごと
取るに足りない人の悩みよ
菊地 康雄

大和路を鹿と戯れ月夜の宴
紫式部優しく揺れて
小野 恭子

俳句

新得俳句同好会

異郷の地飯の住まいや九月尽
片桐 波月

彩づきし葉をおよがせて秋の水
八木 育子

秋空に句友の句碑を懐かしむ
奇藤 青苔

人生も同じ運命か流れ星
月井 愁峰

紙吹雪散らすが如く銀杏枝
袴田ゆき男

駅ホーム時計を競う走りそば
大崎かずお

コスモスの一途に咲いて実となりぬ
高橋 民女

句碑開き亡友の声聴く花野かな
中島 土方

12月のカレンダー

昨年のチャリティーかくし芸大会的一幕



12月の納期限は 町・道民税第4期、
国民健康保険税第6期、後期高齢者医療保険料普通徴収第6期、
介護保険料普通徴収第6期納期限
25日まで

1 四	介護・ものわすれ相談(なごみ) 9:00 転ばん塾(なごみ) 13:30 3歳児健診(なごみ) 10:30	11 金	おはなし会(なかよし) 15:15 移動図書館号かりかち号運行	21 月	
2 水	新得・屈足合同わすれん塾(公民館) 9:00 健康相談・栄養相談(なごみ) 10:00	12 土	第13回小学生フロアカーリング大会 (町民体育館) 9:30	22 火	転ばん塾(なごみ) 13:30
3 木	健康相談(屈足) 10:00	13 日	親子ふれあいもちつき大会(公民館) 10:00	23 水	新得山スキー場オープン(予定)
4 金	バランス体操教室(屈足総合会館) 13:30 にこにこタッチ(なかよし) 10:15	14 月	バランス体操教室(屈足総合会館) 13:30	24 木	クリスマス子ども映画会(図書館) 15:15 健康相談(屈足) 10:00 移動図書館車かりかち号運行
5 土	第23回チャリティー有志かくし芸大会 (公民館) 18:00	15 火	転ばん塾(公民館) 13:30 乳幼児健診(なごみ) 13:00	25 金	おはなし会(なかよし) 15:15 移動図書館車かりかち号運行
6 日	第30回町民バドミントン大会 (町民体育館) 9:00	16 水	新得・屈足合同わすれん塾(公民館) 9:00 健康相談・栄養相談(なごみ) 10:00	26 土	
7 月	乳幼児健診(屈足) 13:00	17 木	健康相談(屈足) 10:00	27 日	
8 火	転ばん塾(公民館) 13:30 1歳6ヶ月健診(なごみ) 10:30	18 金	バランス体操教室(屈足総合会館) 13:30	28 月	
9 水	新得わすれん塾(なごみ) 9:00 健康相談・栄養相談(なごみ) 10:00	19 土	育児の日 土曜おはなし会(図書館) 14:00	29 火	
10 木	屈足わすれん塾(屈足総合会館) 9:00 健康相談(屈足) 10:00 寿教室(公民館) 10:00 子育て相談(なかよし) 10:00 移動図書館車かりかち号運行	20 日		30 水	
				31 木	

すくすく
赤ちゃん

ちだ
千田さくらちゃん

平成 27 年 4 月 15 日生まれ

パパ 孝彦 ママ 久美子

あけぼの会